

## 「愛知県高潮対策検討委員会 第1回」の開催概要について

### 1. 概要

平成29年2月13日午後14時からアイリス愛知にて「愛知県高潮対策検討委員会 第1回」を開催しました。

『検討委員会 出席委員』

氏名	所属	備考
喜岡 涉	名古屋工業大学 教授	
水谷 法美	名古屋大学 教授	
高木 朗義	岐阜大学 教授	
内田 康史	愛知県防災局防災危機管理課長	
八木 秀樹	愛知県防災局災害対策課長	代理：災害対策課主幹 岡田克久
加藤 誠司	名古屋市 防災危機管理局 危機管理企画室長	
齋藤 誠一	豊橋市 危機管理統括部長	
齊藤 清勝	半田市 総務部付部長兼防災監	
近藤 芳英	西尾市 危機管理局長	
山口 精宏	弥富市 総務部長	代理：危機管理課長 羽飼和彦
田中 敬也	愛知県建設部 治水防災対策監	代理：港湾課長 豊田正博
大野 孝宏	名古屋港管理組合 総務部危機管理監	代理：危機管理課長 畔柳真文
松浦 直	国土交通省中部地方整備局 河川部 河川調査官	
工藤 健一	国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官	
内藤 正彦	国土交通省水管理・国土保全局海岸室長	
村岡 猛	国土交通省港湾局海岸・防災課長	

### 2. 内容

(1) 検討委員会の設置趣旨について

(2) 第1回検討委員会の検討課題

- 高潮・氾濫シミュレーションの実施状況
- 水位周知海岸の氾濫ブロックの分割方針及び基準水位観測所の指定方針
- 高潮特別警戒水位の設定方針

### 3. 主な意見

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 浸水範囲が広大となるため広域避難を検討する必要があるが、段階的避難を考える際は避難開始の基準をよく議論していただきたい。
- 堤防の構造形式に応じて、決壊の検討条件・検討結果を整理していただきたい。
- 高潮防波堤の決壊条件が氾濫ブロックに影響があると想定されるが、決壊条件について検討していただきたい。
- 水位が急激に上昇する場所ではリードタイムが全く取れない状況となるが、対応を検討していた

だきたい。

- 水防法で想定している解釈で高潮特別警戒水位の意味合いを確認したい。
- 高い建物の有無等により、地域によって高潮特別警戒水位の捉え方や避難計画の立て方が異なる  
と考えられる。気象庁の予報等と絡めたりして、高潮特別警戒水位の活用の仕方を考えていただ  
きたい。
- 高潮特別警戒水位を設定することの意味をよく周知することが重要である。
- 堤外地について港湾局で検討を進めており、本年度と来年度の検討でマニュアルを作成する予定  
であり、検討結果は適宜こちらの委員会にもフィードバックさせていただく。



検討委員会 全景



検討委員会 全景



喜岡委員長挨拶



委員質疑 (1)



委員質疑 (2)